



「清掃には思わぬ効用がある」と説くのは、電子計測器などを手がけるマイクロニクス（東京都八王子市）の田仲克彰社長。「清掃を通じ周囲の環境が変わったときに、ふと新たな商品開発のアイデアが生まれることが多い」という。

同社は毎週月曜日の朝8時30分

清掃でひらめく

から20分間、全社員が手分けして社内外の清掃をしている。だが、これ自体は「自分の周りの環境は、自ら整えるべきだ」という田仲さんの持論によるもの。掃除は屋外のほか玄関や階段などの共用部分も行うという徹底ぶりだ。

ただ、今夏は天候不順のうえ、月曜日に雨の日が多かったこともあり「屋外の樹木の剪定（せんてい）がはかどらなかつた」と残念そう。今後の清掃から何が生まれるか、田仲さんも突然のひらめきを、大いに楽しみにしている様子。

マイクロニクス社長

田仲

克彰さん